

対馬暖流は西方沖を北上しています。
対馬暖流の流量は平年より多め
今後の沿岸水温は平年より高く推移

2026年7月22日～28日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

対馬暖流は本道西方沖を北上しています（図1c）。

対馬暖流の北上流量は約1.8Sv（1 Sv=10⁶ m³/s）で平年より多くなっています（8月流量の平年値は1.5 Sv）。

50m深水温は3～19℃の範囲にあります。積丹半島はるか沖合には、対馬暖流の影響により平年より3～4℃高い地点がみられます（図a、b）。7月下旬の余市前浜水温は「かなり高い」となり（※1）、向こう1ヶ月の気温の予報は高い見込みとなっていますので（※2）、今後、沿岸水温は平年より高く推移する見込みです。

※1 余市前浜水温：<https://www.hro.or.jp/fisheries/research/central/section/kankyuu/suion/2026.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?region=010100&term=P1M>



余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

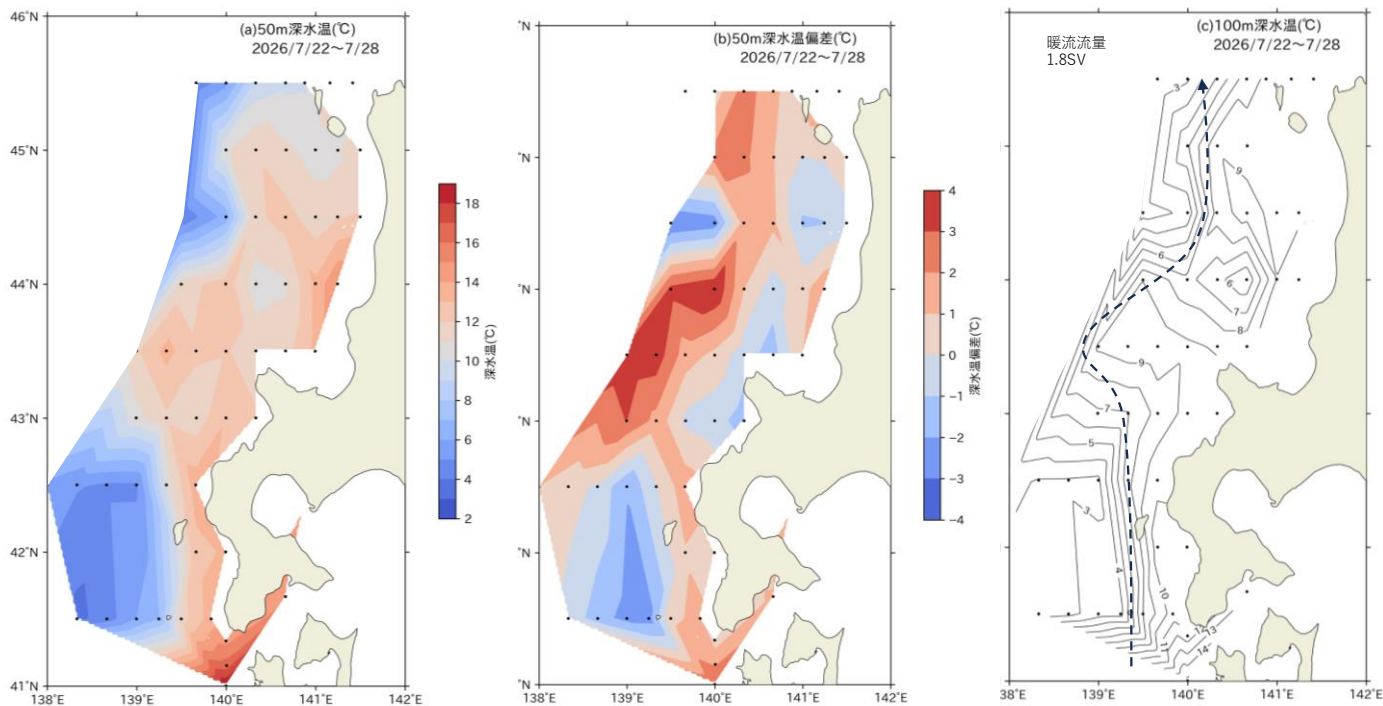


図 2026年7月下旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路（矢印）。水温偏差は過去30年（1989年～2018年）の平均値から算出。流量の単位はSv（=1×10⁶m³/s）。